

留学生職業能力開発センター(CDC)

事業名	留学生の就活支援 —支援団体との連携講座—			
実施期間	平成25年5月～平成26年 1月			
場 所				
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	322 名	54 名	102 名	478 名

＜実施内容＞

留学生の就活支援を大学、地方団体、留学生を採用する企業と連携し講座を展開した。大学では自己分析、企業研究の仕方、履歴書・ESの書き方、あるいは日本の商習慣を理解する等就活に必要な講座を行った。川崎市の協力のもと、中小企業の見学会などを実施した。



自己PRを書く



就活に必要な手紙



日本の商習慣書類を送る



マナー実習



企業見学会、内定した先輩からのメッセージ

<参加者からのコメント>

CDC講座に参加して

オーマル ムザパル/Wumaier Muzapaer (中国) 福島大学大学院共生システム理工研究科

私は、日本に留学を決心した時に、卒業後は日本で就職をしたいという決意で留学をしました。いよいよその時期を迎えました。福島大学の国際交流センターから、今年から留学生の就職支援をやるという、メールを受け取りました。このような機会でしたので、是非参加したいと申し込みをしました。この時が研究科1年の夏でした。

留学生の就職支援をしている団体で留学生職業能力開発センター、普通はCDCということだそうです。その団体がきてセミナーをやってくれました。

講座は、いろいろなプログラムが用意されていましたが、私が特に印象にもこったのが、自己PRの作り方と模擬面接演習でした。自己PRでは何を書いたらいいか最初は全く分かりませんでした。自分の自慢できることや、これまでやってきたこと等いろいろ書きましたがまだ就活が始まっていませんから、なかなか本気にはなれませんでした。模擬面接演習では他の人を見て自分は十分こたえることができると思っていました。いざ自分の番になるとそうは行きませんでした。普段の生活の書く、話すことと就職となるとずいぶん違うということが分かりました。これまで市民の方と交流をしていましたが、もっといろんな方と話し、日本のことを理解することが大事と思い積極的に参加して日本語の学習の場にしました。2年生になりましたが、なかなか就活がうまく行きませんでした。こんなに就活が大変と思いませんでした。CDCの先生と、メールや、上京した際何度か相談に乗ってもらいました。特に履歴書やESを見てみらい、書いていることを始めいろいろ質問を受けました。この質問の中にヒントがあり全面書き直を10回近くしました。本当に大変でした。しかし日本にきて親戚も友人もない新しい国で、留學生活の喜びや苦しみなどのいろいろな辛酸を嘗めて来ました。どんな困難に遭っても、ポジティブな思想で、今日が悪くても、明日は良くなると信じて、いろいろチャレンジして、頑張っ て行きましたので、就活も前向きに、これも経験という気持ちに切り替えました。

その結果なかなかESが通らなかったのがスーとおるようになりました。自分の信条でもある、「絶対あきらめない」というポジティブな気持ちや、いろいろな人が助けてくれる、ということで乗り切ることが出来ました。内定の祝いを理事の家でしてくれたこともうれしかったです。

これから、実社会でいろいろなことがあると思いますが、この就活を支えてくれた家族、CDCの先生にこたえて頑張りたいと思っています。